

令和8年 3月 3日

令和7年度 学校関係者評価報告について

学校法人 山口学園
長崎公務員専門学校
学校関係者評価委員会

令和7年度 学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告します。

記

1. 学校関係者評価委員

- 関連業界関係者（公務員） 2名
 - 卒業生 2名
 - 教育に関し知見を有する者 2名
 - その他校長が必要と認める者 1名
- 計7名

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第1回学校関係者評価委員会 令和8年2月14日（土） 現地開催
- 第2回学校関係者評価委員会 令和8年3月 3日（火） 書面決議

3. 学校関係者評価委員会報告

別紙、「令和7年度 学校関係者評価報告書」のとおり

以上

令和7年度 学校関係者評価報告書

関係者委員会の評価, 意見および提案

令和8年 3月 3日

学校法人 山口学園

長崎公務員専門学校

「自己評価」結果に対する評価

1. 教育理念・目的・育成人材像

意見なし

2. 学校運営

(ア) (2-2 業務の効率化について)自己評価 C

① 教職員アンケート結果や企画提案の状況を踏まえると B 評価が妥当ではないか。

- 多くの提案があり、94%は実施済み
- 将来を見据えた新カリキュラムと新サービスは必要な取組
- 教職員アンケートの結果も概ね良好

② アンケート質問の内容をより具体的、答えやすいものに改善してはどうか。

③ AI や DX を活用した業務改善を図ってはどうか。

【学校側回答】マークシート読み取りソフトの開発により、模擬試験採点業務が改善された。また、SPI 対策アプリなども開発し、導入している。

3. 教育活動

(ア) (3-2 教職員の資質能力向上や授業改善について)自己評価 B

① 資質能力向上は学校側が全て取り組むべきではなく、職員側の主体性も重要ではないか。

② ニーズを十分に把握した上でプログラムを提供すべきではないか。

③ 企画提案一覧を見ても、前年度よりも教職員からの企画提案が増えていることは評価できる。

4. 学修成果

意見なし

5. 学生支援

(ア) (5-3 長欠及び成績不振による退学率の低減について)自己評価 B

① 退学率 3%以内の指標は厳格すぎるのではないか。5%程度を目標としても良いのではないか。

【学校側回答】現在の指標については、設定した当時の学校現場における精神疾患を抱える学生の割合をもとに設定している。再度、その妥当性については近年の状況を踏まえて検討したい。

② 新カリキュラムで導入する非受験年度での取り組みによって、退学率低減に寄与することを期待する。

(イ) (5-6 卒業生への支援体制について)自己評価 A

- ① 採用試験情報の提供と、相談対応の両立がなされていれば、A 評価は妥当ではないか。
- ② 卒業する学生が何を学校に期待しているか、調査アンケートを実施してはどうか。

6. 教育環境

意見なし

7. 学生募集

(ア) (7-1 学生募集が適切かつ効果的に行われているかについて)自己評価 B

- ① 説明会参加者のうち、チラシ配布による参加率が高いが、印刷費や人件費などの負担があり、どの学校も公式 LINE や SNS を広く活用した募集を行っている。積極的に導入してはどうか。
 - 立地的にも、かなり良い場所にある。カフェなどの周辺環境を含めた学生生活の魅力を発信すると入学者の獲得に繋がるのではないか。

【学校側回答】従来は座学中心で、視覚的な魅力が低かった。次年度からは新カリキュラムの中で課外活動などの動きのある授業も行っていくため、積極的に発信していきたい。

- ② 体験入学のようなものをしてはどうか。
- ③ 今後、少子化の影響で学生数が減少していく中で、ますます学生募集は重要になってくる。目標とする入学者数や定員に対する割合は設定しておくべきではないか。

8. 財務

意見なし

9. 法令等の遵守

意見なし

10. 社会貢献・地域貢献

意見なし

「本年度の総合的な評価結果」に対する評価

意見なし

「今後取り組むべき課題(改善策)」に対する評価

1. 学生に関すること

(ア) 教養重点科新カリキュラム設置の目的達成

- ① 新科目「総合学習」が来年度から開講する中で、突破率などの実績作りも重要ではあるが、初年度は多角的な試行錯誤を重ねながら、失敗と検証を重ね、翌年度に活かしていくことを期待する。
- ② 二年間かけてゆっくり指導を行っていくという新カリキュラムの取り組みは、社会問題となっている不登校経験者への対応にも通ずる部分もある。それを意識しながら指導を行って欲しい。

(イ) 上級科新カリキュラムの構築と学生募集

意見なし

(ウ) 昼間部 1 次合格率の向上

意見なし

(エ) 昼間部突破率の向上

意見なし

2. 教職員に関すること

(ア) 業務の効率化について

- ① 学生の学修に影響しないカリキュラム構成としつつ、週休 2 日制を導入して欲しい。

学校運営の改善に関する提言

- 時代の変化に応じ積極的に教育活動・学生支援について改善に取り組まれております。学生が就職後、自主性を持ち活躍できるよう今後の支援に期待します。